

ビジネスプランコンテスト 2012

Matsue Open Source

Business

Plan

Contest

2012

<http://www.shimane-oss.org/biz-contest2012/>

第4回

(V) o ¥ o (V)

オープンソースソフトウェア活用のビジネスについては、オープンソース導入におけるコンサルティングやメンテナンスのサービス、オープンソース言語の柔軟性を活用したソフトウェア開発など、オープンソースの特長を生かしたビジネスが進められています。しかしながら、オープンソースの「ビジネスモデル」という点では、未知数の部分が多くあり、オープンソースを活用した収益モデルの確立に向けて探索期が続いています。

本コンテストでは、ビジネスプランを実現する際にオープンソースを活用するプランを募集・審査し、優秀なプランを表彰することにより、この分野におけるビジネスの可能性に光を当てることにより、事業化・起業化につながることも期待しています。

今般、オープンソース活用の機運のさらなる醸成を図り、ビジネス展開をさらに盛り上げるべく、第4回となる「松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト2012」を開催致します。

オープンソースを活用したビジネスにご関心のある方々からの積極的なご応募をお待ちしております。

ビジネス活用部門

オープンソースを活用したビジネスに関心のあるプログラマー、エンジニア、経営者、研究者等を対象。

プログラマー+経営者等、複数(3人まで)のチームでの応募可。原則として、個人(一般)での応募とします。

表彰
最優秀賞(1名・団体)・・・賞金 20万円
優秀賞(1名・団体)・・・賞金 5万円

学生部門

オープンソース活用のビジネスに関心のある学生(高校生、高専生、大学生、大学院生)を対象。

個人、もしくはグループ・団体での応募とし、グループ・団体の人数は問いません。

表彰
最優秀賞(1名・団体)・・・副賞 5万円相当
優秀賞(1名・団体)・・・副賞 3万円相当

※どちらの部門ともに、1人当たりの応募は1件のみ(グループとしての参画も含む)とします。なお、応募者の居住地は問いません。ご応募をお待ちしております。

【募集締切】2012年 1月10日(火)まで(必着)

※公開で行いますのでどなたでも参加できます。

【最終審査会】2012年 2月18日(土)13:45~ 松江テルサ4F 大会議室/同日表彰式

【審査委員】しまねOSS協議会 会長 井上 浩 氏/しまねソフト産業ビジネス研究会 代表 吉岡 宏 氏/株式会社楽天 執行役員 森 正弥 氏
株式会社スマートスタイル 代表取締役 野津和也 氏/日経BP社 IT Pro 副編集長 高橋信頼 氏/株式会社日立ソリューションズ
技術開発本部 本部長 正村 勉 氏/株式会社万葉 代表取締役 大場寧子 氏

【主催】松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト実行委員会 (松江市+しまねOSS協議会) **【後援】**鳥根県/財団法人しまね産業振興財団/鳥根大学/松江高専

【お問い合わせ先】松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト実行委員会事務局 担当:大谷、福田
〒690-8540 松江市末次町86番地 松江市産業経済部産業振興課内/電話:0852-55-5518 /E-mail:oss-contest@city.matsue.lg.jp (申請書類送付先)

ビジネスプランコンテスト 2012

【ビジネス活用部門】 ビジネスプランを実現する際にオープンソースを活用するビジネスプランを対象とします。

【学生部門】 学生のアイデアによるビジネスプランを対象とします。

※どちらの部門ともに、1人当たりの応募は1件のみ（グループとしての参画も含む）とします。

※応募者の居住地は問いません。ご応募をお待ちしております。

【応募方法】

<http://www.shimane-oss.org/biz-contest2012/> から所定の応募用紙をダウンロードいただき、必要事項を記入の上、事務局宛まで電子メールでお送り下さい。なお、ファイル形式は、PDFにご変換下さい。応募用紙は、アンケートも含め、**4ページ**に収まるようにご記入下さい。2ページ以降の記入枠の行数は目安ですので、記入する内容に応じて枠の大きさを調節して下さい。

- * 応募プランは、**ビジネスプランを実現する際にオープンソースを活用するプラン**であり、応募者/グループによって開発、考案された**オリジナル**なもの。ビジネス展開の準備中、もしくは、構想段階にあるもの。
- * 応募プランは、未公開・未発表のものであることが望ましいが、既に、開発済みのシステム、アプリケーションや、ビジネスとして展開中のものであっても、本応募において、新たなアイデア、プラン等を付加することによって、応募することができます。
- * 応募プランは、既に公開されているオープンソースソフトウェア（OS、アプリケーション）を活用したビジネスプラン、またはRuby等のプログラミング言語を使用して新たに開発するソフトウェアを活用したビジネスプラン、もしくはそれらを組み合わせたものによって実現できる新しいビジネスプランを応募対象とします。
- * 応募対象の分野は問いません。現在、研究・開発中の技術やシステムを発展させたビジネスや、ビジネス上の課題や実体験を基にした課題解決型のビジネス、地域活性化やオープンソースに関わる教育モデル、地域SNSを活用したモデル等、応募者の斬新なアイデアを期待します。
- * 本コンテストでは、「オープンソース」を、オープンソース系プログラミング言語で開発されたソフトウェアそのもの、もしくは、ソースコードが公開されているソフトウェアと捉えています。**サービス提供の段階でソースコードを公開するかどうかは問いません。**

1 一次審査(書面審査)

ビジネス活用、学生部門毎に、応募書類をもとに、以下の項目について評価を行います。それぞれ上位の方・団体については「入選者」として最終審査に進んでいただきます。一次審査通過者・団体には事務局より個別にご連絡します。

- ① **オープンソース活用度**……オープンソースに対する理解、活用度（技術面・応用面）等を審査
- ② **アイデア・新規性**……アイデア・新規性・進歩性を審査
- ③ **収益性**……ビジネスとしての収益性を審査
- ④ **実現可能性**……実現可能性、ビジネスプランとしての完成度等を審査

※**審査委員について**：審査委員は、審査委員が所属する企業等に関係の深い者からの応募があった場合、当該審査委員は、その審査には関わらない等、審査の公平性への配慮を行うこととします。

※**企業とのコラボレーション**：しまねOSS協議会会員企業を中心に、当コンテストの「ビジネスプラン」に興味がある企業の経営者や企画・営業担当者に最終選考会に参加いただき、プラン実現に向けた話し合いの機会を提供します。

2 最終審査(プレゼンテーション審査)

一次審査通過者は、2012年2月18日(土) 午後開催される「最終審査会」に出席いただき、応募ビジネスプランについて15分間のプレゼンテーションをしていただきます。左記の項目に⑤**プレゼンテーション**を加えて、審査委員による最終審査を行います。

最終審査会への出席に旅費が必要な場合、1応募につき1名分の往復交通費を負担いたします（実費（上限7万円）、日本国内）。なお、支払いについては、領収書、半券（空路の場合）等の証憑書類をご提出いただいた後、3月末日までの支払いになります。この旨ご了承下さい。

- * 2012年2月18日(土) 午後開催の最終審査会に応募者が出席できない場合は、最優秀賞、優秀賞の審査対象から外れることになります。
- * 一次審査を通過したビジネスプランについては、「応募者/グループ」、「ビジネスプランの名称」、「ビジネスプランの概要」を公表いたします。公表について差支えがないよう、記述にはご配慮下さい。
- * 最終審査会におけるプレゼンテーションは公開となりますので、その旨ご了解の上、秘匿情報、ノウハウ等についてはご配慮下さい。
- * 審査結果（一次、最終）に対する個別のお問い合わせには回答はできません。
- * 応募書類の記載内容に事実と反する記述等があった場合には、入選・受賞を失格として取り消す場合があります。
- * 最終審査会終了後、本コンテストの開催報告として、会場写真をWebページに掲載します。この旨ご了承下さい。昨年度の開催報告については <http://www.shimane-oss.org/biz-contest2011/> をご参照下さい。
- * 個人情報の利用については、本コンテストにおける審査、最終審査のお知らせ等の目的において主催団体が管理、責任者として利用し、他の目的には一切使用しません。

【お問い合わせ先】 松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト実行委員会事務局 担当：大谷、福田

〒690-8540 松江市末次町86番地 松江市産業経済部産業振興課内 / 電話：0852-55-5518 / E-mail：oss-contest@city.matsue.lg.jp（申請書類送付先）